

社会福祉法人芳香会 会報誌

せいらんそう

第54号
2023.3



グループホーム穂の香より（P7掲載）

Contents

- P 2 新療育園の設備を利用して
- P 3 2022年度行事紹介
- P 4 資格取得を目指して！
- P 5 2022年度研修報告
- P 6 古河第二高等学校と共同授業を行いました
芳香会募金活動
- P 7 事業所トビックス
- P 8 芳香会活動報告
芳香会スケジュール
編集後記



たま保育園より（P7掲載）

新療育園の設備を利用して

「青嵐荘療育園通所事業所の新生活」



青嵐荘療育園は令和4年6月に完成し7月4日に引越しを行いました。通所事業所は利用者が安全にご利用いただけるよう準備をし、翌週11日から活動を再開しております。移転後しばらくは旧療育園の取り壊しのため十分な駐車スペースがとれず、正面玄関からではなく西側の出入り口を使用していたことができました。正面玄関使用開始の12月上旬までの間、ご利用者ご家族の皆様のご理解とご協力を賜り大きなトラブルなく過ごせたこと、この場をお借りして感謝申し上げます。

さて、通所事業所の新生活ですが、以前の活動場所に比べて約4倍のスペースとなっており、床面から天井まで大きな窓からは中庭が望め、自然光を感じられる空間となっております。ご利用中はベッドでもマットでもお過ごしただけ、ベッドは低床ベッドを使用することで、高さにご不安のある方へ配慮させていただいております。冬季は床暖房を使用しており、マットの心地よい暖かさのためか、今年の冬はうたた寝をする方が多くいらっしゃいます。音響設備も充実しており、壁一面の大型スクリーンの映像を、ご利用者それぞれの場所から楽しむこともできます。また、通所専用の浴室も設置しており、安定した入浴サービスの実施ができるよう現在調整中です。

コロナ禍で外部との関わりや活動にも大きな制限が続いている状況ではございますが、新しい建物の設備を活かしながら、サービスをご利用いただいている時間がより充実したものとなるよう職員一丸となり支援してまいります。

新型コロナウイルスの5類への見直しに向けた議論が進められております。今後、多くの方が青嵐荘療育園にお越しいただける日も近いのではと、期待しながら私たちの新生活を広く共有できる日を楽しみに、ご利用者の皆様と過ごしていきます。

(芳香会病院青嵐荘療育園 竹内)



「新しい環境で訓練を行い感じたこと」

自立訓練（機能訓練）サービスは交流ホームをお借りしていましたが、新療育園では多機能型通所事業所や入所と同じ施設でサービスを提供することができるようになりました。交流ホームと比較すると、機能訓練室は空間としては狭くなりましたが、利用者同士の距離感は近くなり、訓練中のコミュニケーションが増えました。他利用者がどんな目標で訓練を行っているのか、どんな機器を使用しているのか、狭い空間だからこそ状況を把握しやすくなり、機器の譲り合い、スペースの譲り合いなど、人を思いやる気持ちが自然と生まれました。また、他サービスを利用している利用者や職員の方と接する機会が増え、コミュニケーションの幅が広がりました。

新しい設備としては、車椅子ユーザーの方も料理練習が行えるように、昇降式のキッチンを購入しました。その他にも、ミニハードルやバランスマットも購入し、より高度なバランス練習・歩行練習を行うことができるようになりました。

利用者からは、床暖房などの設備により、環境面が良くなり、訓練が行いやすくなったが、集団体操やリハスポーツなどスペースを広く使う訓練は実施しにくくなった、という意見をいただきました。今後は、新しい訓練や活動内容について、利用者・職員と話し合いながら実施していきたいと思っています。

自立訓練（機能訓練）では、今後も利用者の「できない」をどうしたら「できる」になるかを一緒に考え、より良い社会生活を送れるように、支援を行っていきます。

(芳香会病院青嵐荘療育園 小久保)



2022年度 行事紹介



秋祭り開催～日常の中にキラリと光る楽しみを～

青嵐荘つくし園 和田 利之

2022年9月10日に秋祭りを開催致しました。

コロナ禍の中、行事の開催方法や、内容を試行錯誤しながら決めました。今回の秋祭りはご利用者と職員のみで規模を縮小した形での開催とし、ご利用者が、「見て聞いて、においを楽しみ、美味しいものを味わう」などを意識的に楽しめよう、工夫して準備しました。

開催当日は晴天だったので、久しぶりに屋外に出ました。

新人職員と技能実習生は、インドネシアの民族衣装「クバヤ」を身にまとい、司会進行の中、屋用の打ち上げ花火、職員ダンスを見て聞いて楽しみました。特に職員ダンスでは、声を出せない代わりに声援用のうちわを笑顔で振り、声援を送る姿には私達職員が活気とやりがいを感じたように感じます。お食事は、屋台風にし、調理工程を見て、においを楽しむ環境を作り食事提供を行いました。目の前で作る料理を食べるのは格別に美味しい、ということでした。ご利用者が大好きなデザートは、バイキング形式とし、たくさんの種類の中から楽しそうに選ぶことができました。

小規模での開催ではありましたが、日常と違う楽しみが気分転換になったと思います。今回のように、ご利用者の笑顔が見られるよう支援していきたいと思います。



祭りゆうき2022ブース出展報告

結城市南部地域包括支援センター青嵐荘 仲地 英子

結城市には、平成18年度から始まった「祭りゆうき」という秋の催しがあります。

祭りゆうきは、踊りを核とし、市内各地に古くからある神輿渡御やお囃子の演奏、物産展や匠展等が立ち並びます。今年は、規模縮小ではありましたが、10月29日と30日に市役所周辺で開催されました。市民による実行委員会が主体となり開催しています。

この「祭りゆうき」の一角に結城市の介護福祉課と東部・西部・南部の3つの地域包括支援センターで、認知症に関する啓発ブースを設置し、合わせて血圧測定や健康相談を行わせていただきました。

認知症に関するブースでは“ベグ・アモーレ”という認知機能測定訓練器を置いて、認知機能測定を行いました。簡単に楽しみながら自身の認知機能レベルを知ることができるので、並んで待っていただくほど大盛況になりました。血圧測定や健康相談では、病気や病気予防に関すること、健康のことなどの相談がありました。総勢100人以上の方に立ち寄っていただけました。

今後も積極的に地域のイベントへ足を運び、センターを知っていただくと共に、地域のイベントを盛り上げて行きたいと思います。



資格取得を目指して！



学びを活かす



療・教育・産業・福祉・司法」の主要五領域があり様々な領域で重要な役割を担う資格になると考えられています。

私が資格取得を目指した理由として、普段、障害者の相談支援という業務の中で、当事者に留まらず、家族や関係者も含め、メンタルヘルス、心の健康の大切さに気付く場面や機会が多くなったことがあります。公認心理師は非常に横断的な資格であるため、幅広く学びを通じて、普段の相談業務にも活かす事ができるのではないだろうか、また、心に問題を抱えている人の相談にも活かせるのではないかと、と思い資格取得に向けて勉強を開始しました。

あまり勉強が好きでない私のこれまでの資格試験の勉強と違った点が二点あります。一つ目は、初めて「楽しい」と感じて勉強をしていました。もともと興味があった心理学の分野ではありますが、楽しく学んでいるうちに「更に学びたい」という意欲に繋がっていき、時間があつという間に過ぎていきました。二つ目は取得後のビジョンを明確にして勉強に望んだことです。業務の中で、心理的なアプローチを実践し、少しでも心豊かに過ごせる人を増やしたい、そういった資格取得後のビジョンを抱き、勉強に取り組み、モチベーションの維持に努めました。

結果は、勉強の成果か、はたまた、鉛筆転がしの「運」なのかは分かりませんが、見事合格する事ができました。

資格取得した今後も自己研鑽を積み、心が豊かに過ごせる人が増え、悩んでも相談できる人や環境を整え、誰もが住みやすい地域づくりを、普段の業務を通じて貢献していきたいと思っています。

(つくし園相談支援事業所 石田)



理学療法士を目指す

芳香会には奨学金制度というものがありません。これは、看護師や理学療法士、介護福祉士、保育士等の資格取得の為に必要な入学金や学費を芳香会が認めた者について貸与する制度です。芳香会には、奨学金制度を利用し、資格を取得した職員が今現在三十二名在籍しています。

今回、この奨学金制度を利用し、四月から理学療法士を学ぶ青嵐荘ケア・アシスタンス新井介護員をご紹介します。

理学療法士を学ぶことになった経緯

私は、介護福祉士としてケア・アシスタンスで働かせていただき、三年程経ち、様々な障害や病気を抱え生活している利用者の生活支援を行って参りました。その中で、利用者様から「自分で歩けるようになりたい」や「自由にトイレに行きたい」等の訴えを聞くことがありました。そのような利用者様に対し、自分の知識や技術を使って、その人らしい生活を取り戻して欲しいと思うようになり、理学療法士を学びたいと考えるようになりました。

理学療法士になった場合どんなことに挑戦したいか

私が理学療法士になった暁には、利用者様に寄り添うリハビリをしたいと考えています。施設に入所している利用者様の中で、思うように自分の体が動かさずに、怒りやストレスを溜めてしまう方を目にします。そのような利用者様の心の支えになり、信頼関係を築いていく事が、利用者様のリハビリへのモチベーションの向上につながるのではないかと考えます。そのために、必要な知識や技術を、理学療法専門学校で身に付け、良い理学療法士になれるよう努めたいと思います。



防災士

取得

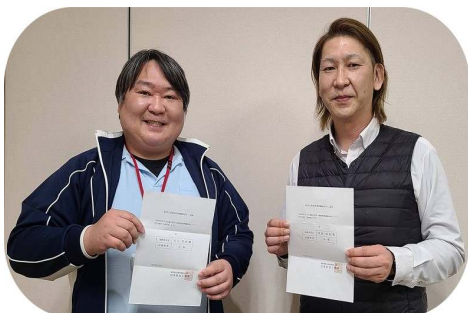


この度、芳香会の職員において、2名の職員が防災士の資格を取得いたしました。

青嵐荘特別養護老人ホームに勤務している富張事務係長(写真右)と石川主任介護員(写真左)です。

防災士とは自助・共助・協働を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待される、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを日本防災士機構が認証した人です。

防災士の取得、おめでとうございます！



2022年度 研修報告

『精神・発達障害しごとサポーター養成講座』を受講しました。

ハローワーク筑西様に依頼し「精神・発達障害者しごとサポーター養成講座」を受講しました。

参加者は、障害者施設7名、高齢者施設職員1名、保育施設職員1名の計9名で参加しました。

講座では、テキストを中心に講師の方が事例も交えて教えていただき、大変わかりやすく、理解しやすかったです。様々な人が働きやすい職場を目指す、各事業所環境を整えていきたいと思

☆受講者の声☆

◎職場での様々なシーンに対しての具体的な声掛けや対応方法が聞けて分かりやすかったです。今後の対人関係で活かしていきたいです。

◎とても分かりやすく説明していただき、障害のある方と働くイメージがしやすかったです。研修時間もあったという間でした。

◎直接、就労のサポートを行っている方のお話を伺うことができ、大変参考になりました。今後の障害雇用の方との接し方に活かしていきたいと思



2022年度 第19回 実務研究発表会を実施しました

2022年12月14日(火) 17:00~19:00 第19回実務研究発表会をオンラインにて行いました。ゲストに筑波大学の安梅勅江様と大村美保様をお招きして、各発表のご講評をいただきました。お二人からは、沢山のお褒めの言葉と激励の言葉を頂戴し、職員一同業務へのモチベーションが更に向上いたしました。今後も、日々の実践から研究へ繋げられるよう学びを深めていきたいと思

来年度は記念すべき第20回となります。多くの方にご参加いただけるよう企画したいと思

発表施設とテーマは以下の通りです。

1. 青嵐荘療護園 『インカム導入でチーム力UP～迅速な対応を目指して～』
2. 青嵐荘特別養護老人ホーム 『自立支援介護の実践から～専門職としての使命～』
3. 青嵐荘養護老人ホーム 『独自入所事業の実践から見えてきたこと
～5年間の振り返りとこれからの事業展開に向けての考察～』
4. 牛ヶ谷保育園 『食べることが大好きになる～見守ることで子どもたちが育つ～』



発表者、聴講者等合わせて54名参加しました。

芳香会は、2010年より、EPA（経済連携協定）介護福祉士候補者の受入を開始し、現在では様々な在留資格の外国人就労者が活躍しております。EPA介護福祉士候補者は、来日前後に日本語を学び、介護施設等に配属後は、学習と仕事を両立しながら、国家資格取得を目指します。

1月25日に開催した「古河第二高等学校・芳香会共同授業（オンライン）」は、生徒と外国人就労者との交流を通じて、国家試験に向けてモチベーションを向上させていくことを主な目的としており、今回で通算10回目となります。同じ日に国家試験を受験する外国人就労者のスピーチに加え、看護師として働く卒業生のスピーチを聴講し、積極的な質問を行うことで、お互いが学び合い、海外の仲間と共に働く意義について、考える機会になったと思われます。

介護福祉士は、生徒達とEPA介護福祉士候補者に共通する大きな目標です。その目標達成だけでなく、この授業による交流がきっかけとなり、相手の立場を考えながら行動できる良い人材へと成長することを期待しております。

（青嵐荘つくし園 坂本）



古河第二高等学校と共同授業を行いました

『介護福祉士を目指す仲間』

フィリピン出身の私は、2019年にEPA介護福祉士候補者として来日しました。来日後は、約6か月間、横浜の研修センターで学習し、現在、つくし園で働いております。

今年の1月、いよいよ目標としていた国家試験を受けます。スピーチの話を頂き、「上手くできるかな」と緊張しましたが、同じ日に受験する高校生を励ますアドバイスとして、一生懸命勉強したことに自信を持ち、試験中には慌てないことを心掛けることが大切であることを伝えました。このスピーチは私にとって良い経験となり、介護福祉士を目指す高校生の頑張りにつながることを願っています。

（青嵐荘つくし園 マジョリ）



『介護福祉士を目指す後輩へ』



私は古河二高を卒業後、介護福祉士を取得し、現在は看護師として働いています。この度の共同授業では、私が国家試験を受けた当時から現在までの経緯や働き甲斐等、体験

談を共有しました。その際、コロナ禍により実習が制限されていることを踏まえた質問をいただき、自分自身が実習を経験できたことへの感謝と、実習を経験せずに施設等に就職していく不安感に気づき、支援することが必要だと感じました。授業後、元担任の先生との再会もあり、嬉しさを感じました。今後も後輩たちに良い後ろ姿をみせられるよう頑張りたいと思います。参加させていただき、ありがとうございました。

（青嵐荘つくし園 田中）

芳香会 募金活動

2022年11月21日インドネシア西ジャワ島で大きな地震が発生しました。芳香会で技能実習生として働いているつくし園ウィンダさんのご実家も全壊という大きな被害を受けました。一緒に働く仲間として何か力添えが出来ないかと考え、芳香会職員に募金をお願いし、お見舞金としてウィンダさんにお渡ししました。

『お見舞い金を受け取って』

令和4年11月21日、インドネシア・チアンジュールで発生した大地震により、私の故郷そして家族は大きな被害を受けました。私は心配しながらも仕事と勉強を続けました。震災を知った周りの人に心配していただき、温かい言葉をいただき元気づけられました。

そして、芳香会全体での募金活動によるお見舞金をいただきました。そのお陰で徐々に家の建て直しが進んでおります。ありがとうございました。芳香会の仲間は、家族のことまで心配してくださるので、とても心強いです。今後も日本で頑張って活躍していきたいと思っております。

（つくし園 ウィンダ）





社会福祉法人 芳香会 事業所トピックス



『まだ見ぬ景色を目指して』

グループホーム穂の香

グループホーム穂の香の開設から18年を迎えようとしていますが過去一度たりとも年度を通し満床を維持し続けたことはありませんでした。しかし、今年度に関しては、現在まで入居率“100%”を維持し続けています。

その要因として考えられる事は、訪問診療や訪問看護との連携が適切且つ迅速に行えたことです。2022年9月には新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生してしまいましたが、その際も医療連携を的確に図ることにより、入居されている方も入院や重症化に至らず、変わらず元気に生活をされています。また、入居に関する問い合わせも年々増加傾向にあります。増加傾向の背景には認知症高齢者の増加と居宅介護支援事業所との信頼関係の構築を図れた事だと思えます。入居申し込みに来荘されたご家族様からは、「雰囲気や対応がとてもいいですね」とお褒めの言葉を多く頂く事があります。今後も現状に慢心する事無く、スタッフ一同、更に飛躍出来る様、精進したいと思います。（中島）



『いっしょに作って食べる』

たま保育園



令和4年度の卒園児は、コロナ禍の中、年少に進級した子どもたちです。進級後、楽しみにしていた月1回のおやつ作り「クッキング」は、感染防止の為に中止となり、当たり前だった事が当たり前でなくなりました。子どもたちの経験不足を心配する日々でした。

「どうしたらできるのか？」と発想を変え、「自分が食べる分を作ったらできるのではないかと」、年長の子どもたちは、①養護老人ホームで掘ったじゃがいもで芋餅作り②絵本を参考にチョコレートのお菓子作り③育てたお米でおにぎり作りの3つを企画しました。

クッキングを通して、保育園に行く楽しみや苦手な食べ物克服につながったり、調理器具の使い方や料理の過程を経験できる機会をつくる事ができてよかったと思います。自分たちで作ったものを「おいしいね」と言葉で伝えあい、共に食事をする時間の大切さを改めて感じました。

「試行錯誤」「あきらめない」をこれからも続けていきます。（中山）

『日本語能力試験を受けて』

青嵐荘療護園

2022年12月に行われた日本語能力試験を受けて、無事に1級（JLPT N1）に合格する事が出来ました。青嵐荘療護園の上司、日本語の先生の支援のおかげでいい点数を取れて、心より感謝しております。

私にとってこの試験は5回目です。この試験を何度か受験した事がありますが、3点、4点が足りないという結果でした。準備が甘い、勉強が足りない等の原因で、「やっぱり、私はここまでか」と諦めたい気持ちを感じていました。しかし先輩たちや家族の応援があったおかげで、心が温くなり、「大丈夫、次はきっとできる」という気持ちになれました。また職場よりN1の受験対策を実施してもらったおかげで、試験に適した勉強の方法を理解する事が出来ました。

もちろんこの試験に合格したから勉強が終わるわけではなく、この試験に合格したからこそ新しい勉強が始まり、新たな目標を立てなければなりません。チャレンジ精神をもって、新しい資格をどんどん手に入れたいと思っています。（サトリヤ）



芳香会活動報告

古河市『みどりのカーテンコンテスト』

優秀賞をいただきました

今年度もみどりのカーテンコンテストに応募いたしました。4事業所が応募し、青嵐荘つくし園と青嵐荘療護園の2施設が優秀賞をいただきました。芳香会全体としても、夏にみどりのカーテンを作るのが定番化してきています。今後、みどりのカーテンを利用してエコで涼しくしていきたいと思っています。



療護園 賞状



落のとう舎
みどりのカーテン

インタビュー記事が掲載されました

1月19日朝日新聞に青嵐荘特別養護老人ホームで技能実習生として働くミフタ介護員のインタビュー記事が掲載されました。

連載記事の「ケアワーカーがいなくなる？」というテーマの第6回の記事として「日本で長く働きたい：外国籍のケアワーカー、実家に送り月10万」というタイトルで掲載されました。



QRコードより
朝日新聞デジタルにて記事
が読めます。
(有料記事)

交通安全講習会を開催いたしました



芳香会では毎年、職員の安全運転意識を高めることを目的に交通安全講習会を開催しております。今年度も去る11月21日に株式会社アライヴ様を講師にお招きし新任職員や運転する機会の多い職員に向けてZoomにて講習会を実施いたしました。

講習会では
実際の事故映

像を見て事故の原因を考えたり、クイズを交えながら安全運転について学習しました。

茨城県は全国的にも交通事故の多い県と言われています。今後も事故のないよう職員一同気を付けてまいります。



芳香会スケジュール

二〇二三年

五月	上旬	法人内ヒアリング
五月	中旬	監事ヒアリング
五月	二六日	移動献血事業
五月	下旬	令和5年6月1日付辞令交付式
六月	上旬	定時評議員会
		理事会



編集後記

すっかり春めいてきました。コロナウィルスの罹患者数も大分減少し少しほっとしている昨今です。職場では、3月・4月にかけての研修や行事が開催され、複数の外国人職員も必ず出席しています。年数を増すことに難しい研修内容等になります。一緒に学べる事の喜びを感じています。これからも日本に滞在して貰い、仕事を継続して貰える事を願っています。(光)

今年は例年より干し芋に凝っています。以前は近所のスーパーで買っていたが、道の駅まで買いに行ったり、SNSで発見した古河市内の干し芋屋さんで購入しています。いつものスーパーも良いですが、道の駅に行くとなんだか生産者さんに出会えて面白いです。(礼)

先日、天気予報を見ていたら茨城県大子町の観光名所「袋田の滝」が紹介されていました。冬の時期に厳しい冷え込みが続くと、滝が凍結する「氷瀑」を見るのができ、幻想的な雰囲気を感じていました。さらに、厳しい冷え込みが続けば高さ120m、幅73mの滝が完全凍結するときもあるそうです。(剛)

折り畳み自転車で近場はもちろん、車を出掛けた先や輪行でのサイクリングを楽しんでいます。車だと気付かないようなお店やスポットを発見できるので楽しいです。(麻)



社会福祉法人 芳香会

発行責任者/法人事務局 編集/会報誌作成委員会

〒306-0201 茨城県古河市上大野698

TEL 0280-97-1027 (代)

FAX 0280-97-1112

ホームページ <http://www.houkoukai.or.jp> メールアドレス honbu@houkoukai.or.jp



※写真等の個人情報は、ご本人の同意を得て、掲載させていただいております。

